

2022年12月8日(木)開催 DAFS 経営研究委員会主催  
「英文ビジネス電子メールセミナー」開催要領

1. 開催日時：2022年12月8日(木) 13:30~17:30 (受付開始 13:00 より)
2. 開催方法：Zoomを使用したオンラインセミナー
3. 主 催：一般社団法人 日本半導体商社協会(DAFS) 経営研究委員会
4. 受 付：当日の13:00から受付(ログイン)を開始いたします。  
DAFSより事前に送付するURLよりお入りください。セミナーログイン用URLは  
セミナー開始3日前までに申し込み責任者宛にお送りいたします。
5. 講 師：ナレッジマネジメントジャパン(株) 代表取締役 牧野 和彦 氏

<略歴>

早稲田大学教育学部英語英文学科卒。米外資系企業においてシニアマネジャーとして多くの実績を収め、1999年、日本人で初めて National Collections & Credit Risk において、800名の専門家を前に英語で講演を行う。2000年、現在の会社を設立し、与信管理のコンサルティング業務や講演活動を行う。自身の外資系企業における経験や海外取引におけるコミュニケーションを基盤とした英文メール研修も行う。早稲田大学の講師としても活動中。2016年より株式会社クレディセイフ企業情報の代表も勤める。

<著書・訳書>

『海外取引の与信管理と債権回収の実務』(日本実業出版社)、『海外取引でよく使われる与信管理の英語』(IBCパブリッシング)、『お金をかけずにマスターするビジネス英語』(中経出版社)、『海外取引の与信管理と債権回収』(税務経理協会)

<メールマガジン>

「ヘッドラインで学ぶビジネスイングリッシュ」、「ニュースで学ぶ与信管理と債権回収」(合計約10,000部)

6. セミナー内容(カリキュラム)

1. 英文メールの基本的な構成
2. 英文メールの基本的なフレーズ
3. 返事がもらえる英文メールの10のポイント
4. 能動態か受動態か?
5. 日本人の陥りやすい間違い
6. 微妙なニュアンスの差を知る
7. 取引の流れに応じた英文メールのサンプルとそのポイント  
(1) 資料請求 (2) 見積り依頼 (3) 契約条件の交渉 (4) 提案を断る (5) 発注・受注  
(6) クレームする (7) お詫びとお礼 (8) リマインダーと督促状 (9) 宣伝・売り込み

7. 受講対象者：英文メールを使用しているが、基本からしっかり学びたいとお考えの方々。  
全くの初心者あるいは上級者の方にとってはハードルが高い／物足りないとお感じになる可能性があります。  
また、上記内容のとおり、技術的な内容は含んではおりませんのでご了承下さい。
8. 受講料（一般）：.19,800 円/一人（消費税 10%込、請求書別途発行）
9. 受講申込：下記アドレス宛、e-mail でお申し込みください。

[dafs@dafs.or.jp](mailto:dafs@dafs.or.jp)（DAFS 事務局）

<e-mail 記載内容>

- ・受講者名
- ・会社名・所属部署
- ・受講者 e-mail アドレス
- ・連絡先電話番号

開催日の 3 日前までに参加に必要なログイン URL 等のご案内を申込責任者宛にメールで連絡いたします。

10. 申し込み締切日：11 月 22 日（火） または定員（60 名）に達したとき。

11. キャンセル：

キャンセルは 11 月 29 日（火）までにご連絡をお願いいたします。それ以降のキャンセルはお受けできませんので代理の方のご出席をお願いいたします。代理の方のご出席が無い場合でも返金には応じかねますのでご注意下さい。

以上